

こおりやま広域圏内の図書館をたずねて

※本企画は、「こおりやま広域圏」内の図書館を広くご紹介し、相互利用の促進を図るためのものです。

VOL.02 須賀川市中央図書館(須賀川市民交流センターtette)

令和6年4月5日発行

図書館の概要

所在地 962-0845 福島県須賀川市中町 4-1 TEL 0248-75-3309
開館年 平成31年

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で被災した(旧)須賀川市図書館に代わり、総合福祉センター跡地に、須賀川市の復興まちづくり事業計画や、認定中心市街地活性化基本計画に基づき、図書館機能に併せ、生涯学習活動拠点やこどもセンター、そして須賀川市が生んだ「特撮の神様」円谷英二監督の功績や魅力を発信する「円谷英二ミュージアム」を併設した複合施設「須賀川市民交流センターtette」内に、新装オープンした、こおりやま広域圏内では最新の図書館です。



蔵書数 (令和4年度)

(一般) 197,841冊
(児童書) 55,552冊
計 253,393冊

貸出冊数 (令和4年度)

(一般) 191,629冊 移動図書館 1,425冊 計201,354冊
(児童書) 117,000冊 移動図書館 7,774冊 計124,774冊
(団体貸出) 6,645冊
(計) 315,274冊 移動図書館 9,199冊 総計324,473冊

図書館の特色



予約・取り置きはセルフサービスです。



郷土資料コーナー。
円谷英二・円谷幸吉(1964東京五輪マラソン銅メダル)の「二人の円谷」や松尾芭蕉、中世の須賀川城主・二階堂氏の資料もあります。



tetteは、図書館を核にしながらも、生涯学習、市民交流、子育て支援、起業支援、情報発信、そしてミュージアム、FM放送局などを内包した複合施設です。また、それらが高度に連携して機能していることが最大の特徴です。写真で紹介した他にも、貸室や託児施設、音楽練習室も備えています。
また、図書館閉館後も一部の蔵書は自動貸出機により借りることもできます。電子書籍にも力をいれています。なお、郡山市民の利用登録は2,248人、貸出冊数は50,950冊にもなります。
(郡山市図書館での須賀川市民の登録は140人、貸出冊数は1,273冊です。いずれも本宮市・三春町に次ぐ3位。) ※令和4年度



チャレンジショップ(カフェテナント)付近には、創業支援コーナーが併設されています。



遊具を備えた、「わいわいパーク」。



「わいわいパーク」内にも円谷英二コーナーがある



広々とした館内では、基本的に自由に学習・飲食ができます。(禁止区域有)

司書のお勧めする資料【白熊関を応援しよう!】



主幹兼館長補佐(司書)の菅野さん。郡山市図書館での勤務経験もあります。

須賀川市出身の西十両5枚目「白熊」関は、目下幕入りを目指して相撲に励んでいます。また、白熊関の出身地の仁井田地区は、郡山市と特に近接しており、郡山市にとっても準地元力士と言えます。
須賀川市中央図書館では、故郷の若きヒーローを応援するため、相撲中継を放映しているモニター脇に相撲にちなんだ特設コーナーを設け、白熊関を応援しています。がんばれ、白熊関!



周辺の見どころ

円谷英二ミュージアム(tette 5階)
(TEL0248-73-4407)

須賀川市出身の「特撮の神様」、円谷英二を顕彰するとともに、子どもたちに学びの大切さ、挑戦するすばらしさを伝え、次世代に生きる人々に大きな夢を与える施設です。また、図書館と併設されている利点を生かし、一体的に蔵書や資料の展示がなされています。円谷監督の生涯や功績、日本の特撮の歴史などがここで知ることができます。円谷監督の作品に登場した数々のSFメカの模型や、スタジオの再現模型など見どころ満載です。館内には大きなゴジラもいます。



【風流のはじめ館】

須賀川市本町81-4 TEL 0248-72-1212
須賀川市は、江戸時代を代表する俳人、松尾芭蕉が、当時須賀川に在住していた俳友・相楽亭翁を訪ねて8日間滞在したことになみ、「俳句のまち須賀川」として、俳句文化の保護・育成に努めています。2020年にそれまでの「芭蕉記念館」を改め、「風流のはじめ館」としてリニューアルオープンしました。



tette

ULTRA FM 86.8MHz(tette 4階)

(株)こぶろ須賀川 TEL 0248-63-0845 tette4階
須賀川市の地域FM番組を、tette4階から発信! 図書館職員の声による「朗読の部屋」という番組や須賀川市内の小中学校の校歌も聴けます。また、CMを流してもらうこともできます。



翠ヶ丘公園

須賀川市のシンボリック存在の大規模な都市公園で、二階堂氏の居城跡である愛宕山を中心に自然豊かな29.9haもの広大な敷地に、各種施設や遊具が完備されています。須賀川市を代表する祭りである「松明あかし」の会場でもあります。



愛宕山

→須賀川駅

編集後記

令和元(2019)年10月に開始された「こおりやま広域圏」内の図書館の相互利用ですが、より相互理解・交流・利用を深めるため、第1回の二本松図書館に続き、第2回として須賀川市中央図書館を取り上げました。同館は郡山市民の利用も多く、「広域圏の相互利用」の成功例として特筆されるほか、施設の複合化や、中心市街地活性化の核ともなるなど、見どころ満載の図書館です。